

がい数

基礎

かいとう

4 年生 算数

1 四捨五入して、十の位までのがい数にしましょう。

- (1) 32 → **30** (一の位 2 は切り捨て)
- (2) 47 → **50** (一の位 7 は切り上げ)
- (3) 85 → **90** (一の位 5 は切り上げ)
- (4) 24 → **20** (一の位 4 は切り捨て)

2 四捨五入して、百の位までのがい数にしましょう。

- (1) 738 → **700** (十の位 3 は切り捨て)
- (2) 251 → **300** (十の位 5 は切り上げ)
- (3) 1450 → **1500** (十の位 5 は切り上げ)
- (4) 3872 → **3900** (十の位 7 は切り上げ)

3 □に当てはまることばを書きましょう。

- (1) 四捨五入で、0, 1, 2, 3, 4 は **切り捨て**
- (2) 四捨五入で、5, 6, 7, 8, 9 は **切り上げ**

解説: 「十の位までのがい数」では一の位を見て四捨五入します。「百の位までのがい数」では十の位を見て四捨五入します。

がい数

標準

かいとう

4 年生 算数

1 四捨五入して、上から 2 けたのがい数にしましょう。

- (1) 2384 → **2400** (3 を四捨五入→切り捨て、8 を四捨五入→切り上げ)
- (2) 5739 → **5700** (7 を四捨五入→切り上げ、3 を見る)
- (3) 12456 → **12000** (4 を四捨五入→切り捨て)
- (4) 98500 → **99000** (8 を四捨五入→切り上げ)

2 □に当てはまる数やことばを書きましょう。

- (1) 5 以上の数は **5, 6, 7, 8, 9**
- (2) 5 未満の数は **0, 1, 2, 3, 4**
- (3) 10 以下の数のうち、いちばん大きい整数は **10**

3 買い物の見積もり

りんご 298 円 → **300 円**
みかん 185 円 → **200 円**
バナナ 340 円 → **300 円**
合計：300 + 200 + 300 = 約 **800 円**

解説：「上から 2 けたのがい数」は、上から 3 けた目を四捨五入します。

がい数

応用

かいとう

4 年生 算数

1 人口をがい数で表す

(1) A 市の人口 238,562 人

千の位までのがい数：約 **239,000** 人（百の位 5 は切り上げ）万の位までのがい数：約 **240,000** 人（千の位 8 は切り上げ）

(2) B 町の人口 45,839 人

千の位までのがい数：約 **46,000** 人（百の位 8 は切り上げ）**2** 四捨五入して百の位までのがい数にすると 600 になる整数のはんい

十の位が 0～4 なら切り捨てて 600 → 550～599

十の位が 5～9 なら切り上げて 600 → 未来の 600 は含まない

答え：**550** 以上 **650** 未満**3** がい数を使って、積を見積もる(1) 398×42 → **$400 \times 40 =$** 約 **16000**(2) 784×51 → **$800 \times 50 =$** 約 **40000**

解説：「○の位までのがい数にすると△になる」→ 切り捨ても切り上げも△になる範囲を考えます。

がい数

思考力

かいとう

4 年生 算数

1 そうたさんの考え

- (1) まちがい
(2) 「未満」は 20 を含まないので、
10, 11, 12, ..., 18, 19 の 10 が正解。

2 □に当てはまる整数

- (1) 四捨五入して百の位まで 1000 になる
いちばん小さい整数：950
いちばん大きい整数：1049
(950～999 は切り上げて 1000、1000～1049 は切り捨てて 1000)
(2) 四捨五入して千の位まで 3000 になる
はんい：2500 以上 3500 未満

3 がい数を使うと便利な場面

【例】

- ・ 買い物でだいたいの代金を計算するとき
- ・ 日本の人口を言うとき（約 1 億 2000 万人）
- ・ 会場に何人いるか大まかに伝えるとき
- ・ 計算の見積もりをするとき

解説：「以上」は含む、「未満」は含まない、の区別が大切です。

がい数

まとめ

かいとう

4 年生 算数

1 四捨五入して、がい数にしましょう。(各 5 点 × 4 問 = 20 点)

- (1) 67 → **70** (一の位 7 は切り上げ)
- (2) 843 → **800** (十の位 4 は切り捨て)
- (3) 2758 → **2800** (百の位 7 は切り上げ → 5 を四捨五入)
- (4) 64500 → **60000** (6 万 → 十の位 4 は切り捨て)

2 □に当てはまる数やことばを書きましょう。(各 10 点 × 3 問 = 30 点)

- (1) 5 以上 10 以下の整数は **5, 6, 7, 8, 9, 10**
- (2) 5 以上 10 未満の整数は **5, 6, 7, 8, 9**
- (3) 整数のはんいは **450 以上 550 未満**

3 がい数を使って見積もりましょう。(各 10 点 × 2 問 = 20 点)

- (1) 295 円 → 300 円、408 円 → 400 円
合計：約 **700 円**
- (2) 38 → 40、52 → 50
40 × 50 = 約 2000

4 次の問いに答えましょう。(15 点 × 2 問 = 30 点)

- (1) いちばん小さい整数は **1500**
(1500 ~ 2499 が四捨五入して 2000 になる)
- (2) 例：買い物のだいたいの代金を計算するとき、人口を言うとき、など

【単元のポイント】

がい数

4年生 算数 第11単元

学習指導要領（平成 29 年告示）の目標

【A 数と計算】A(1) 整数の表し方

四捨五入について知り、目的に応じて用いること。また、以上、未満、以下など端数の処理に着目し、日常生活への活用を理解すること。

◆ 評価の3観点における目標

【知識・技能】

- 四捨五入の意味と方法がわかる
- 「以上」「以下」「未満」の意味がわかる
- がい数を使った見積もりの計算ができる

【思考・判断・表現】

- 目的に応じてがい数を使い分けられる
- 範囲を表す言葉を正しく使える
- がい数を使う理由を説明できる

【主体的に学習に取り組む態度】

- がい数の便利さに気づいている
- 日常生活でがい数を使おうとしている

◆ 指導上の留意点

1. 四捨五入のルール

- 0, 1, 2, 3, 4 は切り捨て（下げる）
- 5, 6, 7, 8, 9 は切り上げ（上げる）
- 「○の位までのがい数」と「上から○けた」の違い

2. 範囲を表すことば

- 「以上」：その数を含む、それより大きい
- 「以下」：その数を含む、それより小さい
- 「未満」：その数を含まない、それより小さい

3. つまづきやすいポイント

- 四捨五入する位を間違える
- 「5」を切り捨ててしまう
- 「以上」と「未満」の境目がわからない
- 見積もりでがい数を使う意味がわからない

◆ プリント作成時の配慮事項

1. 段階的な導入：四捨五入の基本から見積もりへ
2. 位の確認：一の位、十の位、百の位を明確に
3. 実生活：買い物、人口、距離などの例
4. 範囲問題：数直線を使った視覚的理解
5. 計算見積もり：和・差・積のがい算